

みはら情景 わがしの思い出

塩田

力仕事を作り出した結晶



昭和30年頃の古浜の塩田



現在は建物がひしめいている



池田 弘さん
(東町二丁目)

「秋になると、大きなエビを捕まえるのが楽しみでした」

現在、国道2号をはさんで多くの商店、工場、民家などが建ちならぶ古浜のあたりは、江戸時代から昭和30年代にかけて塩田が広がっていました。くざられた四角い区画に、規則的に並ぶ三角の山。今となつては、なかなか見ることができない風景です。中学校を卒業してから8年間、塩田で働いたという池田弘さんは、当時の重労働のようすや子ども頃の思い出について語ってくれました。

塩が採りやすい夏季は、朝4時頃から仕事を始めました。海水を放り込んだり、泥をさばいたり、左右に桶をかついで水を運んだり、すべてが力仕事だったといえます。

雨が降って仕事ができないとき、塩田は子どもたちの格好の遊び場になりました。「野球や駆けっこをして、近所の友だちとよく遊びました」と池田さん。靴が貴重だった当時、足元は毛ろん裸足でした。海水が入りする溝には、しばしばウナギが潜んでいました。夜になるとガスランプを持って、「こっそりと近づき、やすで刺して捕まえました」。

「今の子どもたちは、市内に塩田があつて、手作業で塩を作っていたことを知ると、驚くでしょうね」と笑顔で語る池田さん。当たり前になつてしまった今の風景も、時々昔と比べてみると、新鮮に感じるかもしれませんね。

特定計量器の定期検査

平成18年度特定計量器(ばかり)の定期検査を行います。商店、工場、小口貨物取扱、学校、病院、薬局および野菜・果物出荷などで、取り引きまたは証明にはかりを使用する人は、必ず検査を受けてください。

はかりの定期検査は、1年おきに行います。7月の検査 左の表のとおり

と き	と ころ
3日 月	10:30~11:30 三原農協八幡出張所
	13:00~15:00 中之町コミュニティセンター
4日 火	10:30~11:30 人権文化センター
	13:00~14:30 糸崎コミュニティセンター
5日 水	10:30~15:00 神明会館
6日 木	
10日 月	三原農協本店
11日 火	市役所本庁 (西側駐車場)
12日 水	
13日 木	

問い合わせ先 商工振興課
084884103
(☎084886072)

税の納期

国民健康保険税(第1期)
介護保険料普通徴収(第1期)
納税通知書は今月初旬に
発送します。

固定資産・都市計画税(第2期)
納期限 7月31日(月)

税金・保険料は納期限までに納めましょう。

あとがき

いよいよ暑い夏の到来です。3度目の夏になります。何か歌が一つできそうですが、それほどドラマチックな感じでもありません。この季節、やはり気になるのは日焼け。「また黒くなったんじゃないか」という言葉が痛いですが、油断はできませんね。当たり前のように輝いている夜空の星。ふだん立ち止まって星を見ることなど、めったにないかもしれない。でも一つひとつの星を見ながら、この光がここに届くには、どれほどの時間がかかっているのだろう。などと考えると、壮大な宇宙について思い知らされます。今月は、宇根山天文台で、星の観望会があります。日常の騒々しさから少し離れ、ゆったりとした流れを感じてみるのも、良いかもしれませんね。



● 三原市の人口 ●
(5月31日現在)

世帯数	43,169世帯 (+458)
人口	105,278人 (-433)
男	50,463人 (-142)
女	54,815人 (-291)

()内は前年同月との比較

資源保護のため「広報みはら」は再生紙および大豆インクを使用しています。